

人生のページに余白挟みつつ

田中 たづ子

こりもせず未来図描き年は暮れ

寺畑 末雄

川柳という捌け口の有難さ

藤井 節子

震災が瞬時に歴史ぬりかえる

竹本 タエ子

傘寿過ぎ修理しながら動く日日

今川 昇

じんせいのページによはくはさみつつ

たなか たづこ

こりもせずみらいずえがきとしはくれ

てらはた すえお

せんりゆうというはけぐちのありがたさ

ふじい せつこ

しんさいがしゅんじにれきしぬりかえる

たけもと たえこ

さんじゅすぎしゅうりしながらうごくひび

いまがわ のぼる

ばーぶーと曾孫元気な初電話

春吉 智子

対岸の波止に人影初日かな

田中 孝利

初日さす小屋に納まる猫車

林 保江

雨の日の光り集めて冬木の芽

藤岡 久美子

野島へと折り返へす船初時雨

金内 憲一

ばーぶーとひまごげんきはつでんわ

はるよし ともこ

たいがんのはとにひとかけはつひかな

たなか たかし

はつひさすこやにおさまるねこぐるま

はやし やすえ

あめのひのひかりあつめてふゆきのめ

ふじおか くみこ

のしまへとおりがえすふねはつしぐれ

かねうち けんいち

お母さん親にも子にもそう呼ばれ
重荷のときが幸せなんだ

弘重 和恵

母にせがみ夢中で読んだ「赤毛のアン」
今娘と読めば少女にもどる

賤間 星

通学時下宿の甥の帰り待ち
庭に降りれば肩に雪舞う

河野 敬子

寒くても帰れば暖かほっとする
戦の国の子等は悲しき

中司 和子

診察の人も色々流行風邪
車の中に待つ人多し

川本 禮子

おかあさんおやにもこにもそうよばれ
おもにのときがしあわせなんだ

ひろしげ かずえ

はにせがみおちゅうでよんだ「あかげのあん」
いまことよめばしょうじょにもどる

ざいま せい

つうがくじげしゆくのおいのかえりまち
にわにおりればかたにゆきまう

かわの としこ

さむくてもかえればあたたかほっとする
いくさのくにのこらはかなしき

なかづか かずこ

しんさつのひともいろいろはやりかぜ
くるまのなかにまつひとおおし

かわもと れいこ

自由律俳句

夢をすいこお朝の深呼吸

田中 律子

声なくし想いの出口ペンへと向かう

本園 比佐子

旧交を温め合う病院の待合

岡村 裕司

人生のY字路で道草をする

吉野 俊夫

やるべきことはやった昼下がり

田中 里美

ゆめをすいこおあさのしんこきゅう

たなか りつこ

こえなくしおもいのでぐちペンへとおかう

もとぞの ひさこ

きゅうこうをあたたためあうびょういんのまちあい

おかむら ひろし

じんせいのわいじろでみちくさをする

よしの としお

やるべきことはやったひるさがり

たなか さとみ